

2021年8月6日

株式会社メタップスペイメント

加盟店各位

本人認証サービス『3Dセキュア 2.0 (EMV-3DS)』対応のご案内

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度は弊社における「3Dセキュア 2.0 (EMV-3DS)」を利用したクレジットカードの不正利用対策への対応について、ご案内申し上げます。

非対面取引による不正利用被害は、インターネットでのカード決済の普及とともに拡大しており、2019年度は222.9億円に達しました。また、2018年6月に施行された「改正割賦販売法」において加盟店様におけるセキュリティ対策が義務付けられるなど、決済を取り巻く環境は変化しています。

より一層安心・安全にクレジットカードを使用できる環境づくりのため、ぜひ3Dセキュア 2.0への対応をご検討くださいますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、貴社の益々のご発展をお祈り申し上げます。

敬具

◆3D セキュアについて

3D セキュアとは、Visa「Visa Secure」、MasterCard「Identity Check」、JCB「J/Secure」、AmEx「SafeKey」、DinersClub「ProtectBuy」の、国際5ブランドが推進する本人認証サービスの総称です。

インターネットショッピングでカードをご利用いただく際、クレジットカード情報に加え、パスワード等の追加認証情報をカード会員が入力することにより、本人認証を行うサービスです。

クレジットカード情報の盗用による「なりすまし」などの不正利用を未然に防止することができます。

◆3D セキュア 2.0 とは？

従来の 3D セキュア(1.0)においては、認証の都度カード会員がパスワードを入力する必要があり、パスワード忘れや入力の手間などの問題から実際の購入手続きまで至らず、いわゆる「かご落ち」による機会損失が見られました。

今回弊社が対応します 3D セキュア 2.0 におきましては、プラスアルファの情報を認証に使用することにより、多くのケースでパスワード入力を行わずに認証を完了させることができます（「**リスクベース認証**」と呼びます）。

また、仮にリスクベース認証にて認証不可の結果となりましても、ワンタイムパスワードでの追加認証（「**チャレンジ認証**」と呼びます）を行いますので機会損失を最小限に抑えることができます。

3D セキュア 2.0 の特徴

	3DS1.0	3DS2.0 (EMV-3DS)
認証手続	パスワードを毎回入力	リスクベース認証 パスワード入力が不要となり機会損失 および購入時の作業負荷の軽減
認証方式	固定パスワードで認証	↓ リスクベース認証が成功しなかった場合 チャレンジ認証 (ワンタイムパスワードによる認証) パスワード忘れによる機会損失および パスワード漏洩による不正利用リスクの軽減

◆3D セキュア取引における変更点について

現行の 3D セキュア 1.0 のご利用において、一部の取引に対しては 2021 年 10 月 17 日以降チャージバックの免責が無くなります。(加盟店様負担となります)

利用覚え無しなどの不正利用におけるチャージバック負担		
3Dセキュア未対応	3Dセキュア1.0(現行方式) 対応	3Dセキュア2.0対応
チャージバック負担あり	特定条件下においてチャージバック負担あり *2021年10月17日以降	チャージバック負担なし

また、各国際ブランドからの通達で、従来の 3D セキュア 1.0 の認証方式は **2022 年 10 月に廃止**になることが決まっています。

◆加盟店様での対応について

3D セキュア 2.0 につきましては、現在弊社にて今年 9 月中の対応開始に向けて開発を進めております。対応加盟店様におきましては以下のとおり幾つかシステム等の改修が必要になる可能性があります。

① システム面の改修

「リスクベース認証」を行うにあたり、認証実施の際に以下のユーザー情報を取得してお送りいただくことになります。

- ・カード会員氏名
- ・カード会員住所

② 個人情報利用における同意取得

上記会員情報は個人情報になりますので、これらの情報を認証に使用するためにカード発行会社に提供することについて、利用会員より同意を取得していただく必要があります。各加盟店様にて既に公開中の個人情報保護規程等に組み込んでいただく形で構いません。

以上、これらの改修の詳細につきましては、ご説明資料 B にてご確認ください。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社メタップスペイメントお問い合わせ窓口

support-web@metaps-payment.zendesk.com